



蒲郡文化

No.223

蒲郡市栄町 3 番 30 号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

「地域の文化芸術活動の発展は、蒲郡の活性化につながる」



蒲郡市議会

議長 大 向 正 義

明けましておめでとうございます。

旧年中はご指導ご支援を頂き心より御礼申し上げます

また、蒲郡市文化協会の皆様には、蒲郡市の文化芸術の発展のため、並々ならぬご尽力を賜り深く感謝と敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症のまん延による自粛要請や緊急事態宣言の繰り返しにより、文化芸術活動においても、練習する場や発表する場が制限されたり、閉鎖されたり甚大なる打撃を負いました。

私は、文化協会の謡曲部会に属しており、宝生流の平田正文先生に約十数年間高校の同級生 3 人とともに稽古をお願いしています。ちなみに平田先生も高校の同級生です。

昨年はコロナ禍のため稽古はほとんどできませんでした。今習っているのは、「枕慈童」という演目です。この中に、慈童は七百歳を送る事の佛徳による所以を説き、「この山の菊の露が滴り落ちて人里に流れ出でて薬の水となり、これを汲んで飲むものは皆寿命長久にな

る」という謂れを語ります。

現在のコロナ禍においては、「菊の露の水」がワクチンであり飲み薬の開発ではないでしょうか。

蒲郡市は、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、昨年「豊かな自然一人ひとりが輝きつながりあうまち～君が愛する蒲郡～」として、第五次総合計画を策定しました。文化芸術の主な取り組みとして「文化公演事業や企画展の充実」「郷土の文化財の保存・活用と継承」「文化施設の機能充実」としています。

議会としては市と手を取り合って、市民文化祭や成果発表、インターネット上での文化芸術活動の発表の場や練習の場を提供することにより、文化芸術に対する市民意識の向上を図ります。また、文化協会をはじめ各種団体の自主的な活動を支援するとともに人材育成や発掘のため各種講座等開催できる体制づくりを目指します。

地域の文化芸術の発展は、私たちに安らぎと勇気、明日への希望を与えてくれます。是非とも蒲郡の誇る文化芸術を活かして会員の皆様とともに蒲郡の活性化に努めたいと存じます。

最後になりますが、蒲郡市文化協会のご発展と皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

第46回 県文連美術展 入賞作品

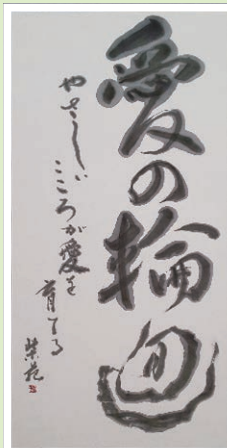
愛知県美術館 令和3年9月22日(水)～26日(日) 《蒲都市文協関係》



「清風流韻」
田中 草紫



「水踊る長篠堰堤」
牧原 清峰



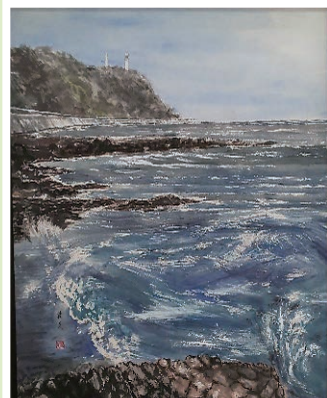
「愛の輪廻」
藤田 柴苑



「山路」
山田 俊行



「おいしい画面」
日高 一樹



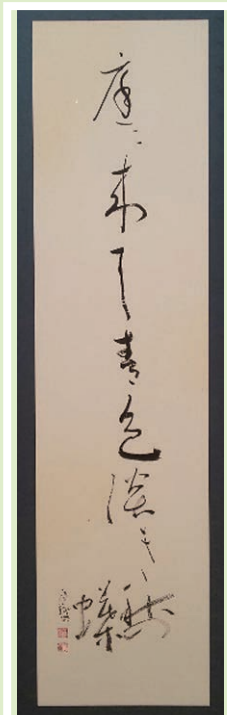
「遠州灘・御前崎灯台」
原 勝久



「涼風」
杉浦 才



「闘いの始まり」
内田 明美



「庭に来て…」
近藤 向華

ふるさと文化財の謎（十六）

国指定 勝善寺の梵鐘

蒲郡市坂本町深山の永尾山勝善寺は、坂本の観音様とも呼ばれる山寺である。この梵鐘は、県下で最古の年紀を刻み、昭和34年12月に国指定重要文化財となった。現在は蒲郡市博物館が保存し、勝善寺には代替の鐘が架かっている。鐘銘には

三河国樂勝寺推鐘

承元二年己巳五月日

本願主金剛佛子永範

改寛喜二年庚刀卯月三日

大勸進金剛佛子行範

大衆並結縁等

この銘にある金剛佛子は、密教を学ぶ僧の意味である。熊野別当家の永範（長範）が承元2年（1208年）に鑄造し、その子、行範が寛喜2年（1230）に再鑄したとあるが、文字どおりには受け取れない。年号と干支が微妙に違い、樂勝寺の寺名や「熊野別當代々記」との人名など今後

検討すべき点がある。

しかし、蒲郡と熊野地方の結び付きを考えるに根拠となる梵鐘である。

永禄5年の徳川家康の上ノ郷城の攻撃の時に勝善寺は炎上し梵鐘は土の中に埋もれ文化年間（1804～18）に発掘されたと伝えられている。この梵鐘を世に広めたのは豊橋の郷土史家の豊田珍彦氏である。発見した時は清田町の安楽寺にあった。



写真：市博物館提供

坂本町は70戸の小さな部落である。江戸時代から、山上の勝善寺に、村人が交替で参詣し、毎朝観音様に佛供を差し上げてきた。本尊は、千手観音立像で室町時代初期と伝えられ、昭和43年に市指定文化財となった。

林 正夫

文化財めぐり

苗木城跡と永保寺を訪ねて

11月17日に参加者54人でバス2台に分かれ、岐阜のマチュピチュ苗木城跡と虎溪山永保寺に行ってきました。苗木城跡は山城なので雨が降らないかと心配していましたが、当日は絶好の行楽日和に恵まれました。

まずは苗木城跡に着き、現地ガイドの方の説明を受けながら少し坂道を登ると巨岩をそのまま利用した石垣に圧倒され、山頂に築かれた掛造（かけづく）りの展望台に上がるとそこには絶景が待っていました。また、ふもとには戦国時代から明治までこの地を治めた遠山氏にまつわる資料館がありここにも立ち寄りました。



次は虎溪山永保寺へ。ここでも現地ガイドの方の説明を受けました。その説明によると、岐阜県には国宝の建造物が3つあり、そのうち2つがこの永保寺にあるとのことです。まずは樹齢700年の大銀杏。まだ黄葉には少し早かったのですが、それでも最盛期の姿は想像できました。そしていよいよ国宝の開山堂と観音堂へと足を運ぶと、整った外観に歴史の重みを感じました。

バスガイドさんの話によると、旅は天気7割、ガイド3割と言われるそうです。この日はどちらにも恵まれ、さらに良い旅先と全員無事で帰ってくることができ120点の旅でした。

市民文化祭



鈴木市長

開会式



中村会長



特別公演「巻絹」

秋日和の高床広場には大勢の皆様が並び、11月3日一年越しの文協50周年・浦添40周年記念の「巻絹」が演能されました。

浦添市とはオンラインで繋がり、鈴木市長の「メンソーレ」の挨拶で始まりました。

蒲郡開祖の藤原俊成と熊野信仰に纏わるこの「巻絹」は、帝の命により熊野へ絹を届ける使者が途中、梅花を愛で和歌を神に手向けたため遅参。それを咎められるが、神子により縄を解かれる筋書。本紙10月号に寄稿の宝生流平田正文氏は『耳に頼らず心に感じて』と書いておられました。

甲高い笛の音。鼓の響き。ヨーオの声。静かに丁寧な所作。伸びきった背。きらびやかな衣装。終曲となり、舞台を下がる演者を拍手で送りました。ゆったりと心の落ち着いた時間をいただきました。

(鈴木美耶子)

特別公演の「巻絹」は、本来浦添市文協創立40周年の年でもあり、「巻絹」と「琉球舞踊」を観ていただくという企画でしたが、残念ながら浦添市文協の皆さまは来てもらえませんでした。来年度は、交流が出来たらと思っています。

右：俳句会は募集句の表彰のみの開催となりました。

俳句会入賞者(募集句の部)

愛知県議会議員賞	鬼頭 幸子
良き便り立ち読む庭の涼新た	
愛知県教育委員会賞	小田 二三枝
腰下ろす案山子もありぬ千枚田	
愛知県文協連合会賞	鬼頭 幸子
燕帰る三河生れの子を連れて	
蒲郡市長賞	小田 紀美子
地下足袋の小鉤もどかし蟬時雨	
蒲郡市議会議員賞	石井 ヤエコ
一片の雲にのりたる今日の月	
蒲郡市教育委員会賞	金田 満子
暮るるほど背戸にひびきし虫の声	
蒲郡市文化協会賞	小池 司
黙禱の肩に止まりし赤トンボ	
佳作	
秋夕焼裾より翳る千枚田	嶋田 由美子
鰯雲スケボー自在にお下げの子	立川 美子
満月や松黒々と浮かびおり	三浦 三治

合同展

10月30日～11月3日

於：博物館ギャラリー



短歌5人、俳句5人、水墨画9人、絵画10人、工芸8人、書道7人、写真9人がそれぞれ力作を展示。広報活動が足りないなか、280人の参観者があり、バラエティに富んだ作品を楽しく見ていただいた。

市民茶会 市民会館大会議室 11月14日(日)



まだまだコロナ感染の心配があり、当日券無しの1席だけの開催。それでも、多くの人が2年ぶりのお茶を楽しんだ。来年度は、茶席でのお茶会が出来ることを願ってます。

令和三年度



短歌会入賞者

愛知県教育委員会賞

コロナ禍の臨時休校に惑ふ子ら

戦時下のわが少女期に似る

愛知県文化協会連合会賞

姉の呼ぶ声に目覚めて夢と知る

われの絵手紙届きし頃か

蒲郡市長賞

声変わりすれども言葉の端々に

幼さ残る電話のたのし

蒲郡市議会議長賞

雨あがり青空の中炭酸の

弾けるごとく子等の声聞こゆ

蒲郡市教育委員会賞

朝毎にメダカの泳ぐ鉢により

五ミリの命の躍動を覗き

蒲郡市教育委員会賞

ロボットと老を送るも楽しきや

「クララとお日さま」読みつつ思ふ

蒲郡市文化協会賞

いつまでか妻の入院はや二年

気づかず過ぎた金婚記念

蒲郡市文化協会賞

鉢植えのハイビスカスは炎昼に

咲き尽くすごとし一日の赤を

佳作

能登 正嗣

加藤 美美代

杉浦 常子

小林 あさ

藤田 隆子

橋本 満寿代

志賀 清助

三田 美奈子

俵 朝子

稲吉 友江

中村 文子

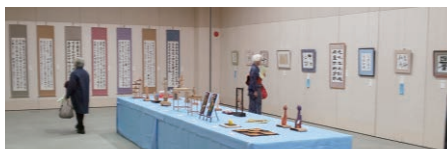
岩瀬 和子

藤井 千代

書道・工芸展 市民会館東ホール 11月12日~14日



出品点数
書道 130点
工芸 47点
参観者数 466人



書道・工芸展は、バラエティに富んだ作品が並び、楽しい展示となっていた。

華道展 市民会館東ホール 11月20・21日

出品点数 58点 参観者数 433人



華道展は、今回も呈茶席がなく少し寂しかったが、見ごたえのある作品が多かった。



文化祭

ホール会場

芸能発表会 11月20日・21日

思うように練習が出来ないなか、楽しい演奏、華やかな舞、力強い吟詠、かわいい子供達など2年ぶりに多くの出演があり、市民の方にも見てもらえた。



詩吟



舞踊



大正琴



民謡



クラシックバレエ



洋楽発表会 11月14日 於:大ホール

今回は、青い鳥合唱団、蒲郡市吹奏楽団、コカリナアンサンブルドルフィンの3団体の出演になってしまった。



箏曲発表会 11月23日 於:中ホール



右 菊花展 11月12日~14日 於:ホールロビー

菊花展賞

愛知県議会賞	河井 宏幸
愛知県教育委員会賞	村松 捷二
愛知県文化協会連合会賞	田島 道秋
蒲郡市長賞	稲石 アキ
蒲郡市議会賞	竹内 正喜
蒲郡市農業協同組合賞	小田 安秋
蒲郡商工会議所会頭賞	小林 春枝
中日新聞社賞	羽田喜久司
蒲郡市教育委員会賞	金沢三千代
蒲郡市教育委員会賞	金田 武久
蒲郡市文化協会賞	北部公民館
蒲郡市文化協会賞	嶋田 勝美

博物館ギャラリー会場



今年は、蒲郡市東高校の写真部の生徒さんの出品（写真上）があった。クラブ活動が難しいなか、発表の場として他の学校も参加展示してもらえると良いと思う。

どの部会も、会員の減少にともない、参観者も減ってきている。新しいグループの加入と広報活動が大事になってきていると思う。



絵画展 11月19日～21日

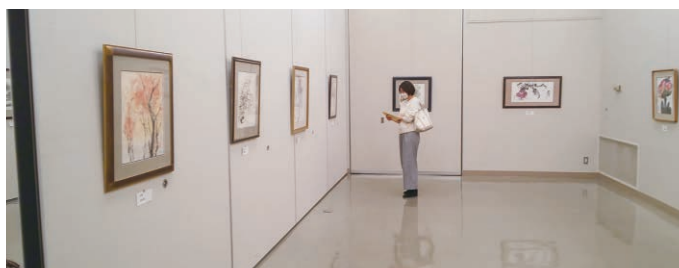
出品点数 50点 参観者数 403人

市民



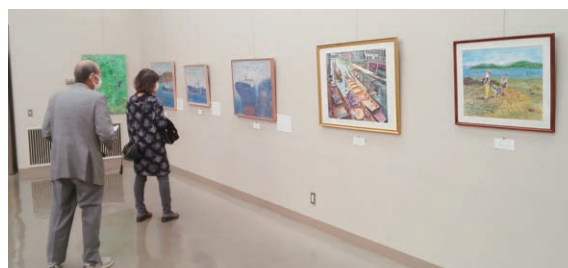
写真展 11月5日～7日

出品点数 89点 参観者数 196人



水墨画展 11月12日～14日

出品点数 50点 参観者数 337人



会員ピアザ

碩山書院一門展開かれる

11月27日～ 28日市民会館東ホールにおいて、碩山書院一門展が開かれた。例年は9月に行われているのだが、コロナ感染拡大もあって、11月に延期され開催となった。



四人の先生方が、「西園雅集圖記」を分担して書かれた作品もあり、興味深く見させて頂いた。学生の部では、128名の人がそれぞれの文字に挑戦。大賞をはじめ、多くの賞に選ばれた人達もいたが、残念ながら去年に続き表彰式は「密」となるという事で行われなかった。それでも、親子で見に来られている人をはじめ、多くの人が作品に見入っていた。

蒲郡市文化協会主催 文化事業
クラシックと映画音楽の

午後のコンサート

第一部 エレガントなクラシック曲

- 1 モーツァルト作曲「小夜曲セレナーデ」第一章
- 2 モーツァルト作曲「ディベルティメント」第一章
- 3 エルガー作曲「愛のあいさつ」
- 4 モーツァルト作曲 歌劇「フィガロの結婚」より「恋とはどんなものかしら」
- 5 ルビンシュタイン作曲「へ調のメロディ」
- 6 モーツァルト作曲「ピアノ協奏曲第21番 第二章」
- 7 バッハ・グノー作曲「アヴェ・マリア」

第二部 涙溢れる思い出の映画名曲集

- 1 映画「シャレード」より「シャレード」
- 2 映画「ライムライト」より「エターナリー」
- 3 映画「夜明けのうた」より「夜明けのうた」
- 4 映画「エデンの東」より「エデンの東」
- 5 映画「ハビヨン」より「ハビヨン」
- 6 映画「千と千尋の神隠し」より「いつも何度でも」
- 7 映画「ロミオとジュリエット」より「A Time for Us」
- 8 ディズニー映画より「小さな世界」

指揮 解説 田中瑞穂

管弦楽 アルテ室内管弦楽団

2022 2月20日 日 13:30開場 14:00開演

蒲郡市民会館大ホール

入場料 (全席自由)

前売券 一般1,000円 18歳以下 500円 チケット取扱い
当日券 一般1,500円 18歳以下 700円 蒲郡市文化協会事務局 0533-68-8505 (月・水・金9:30～16:30)
蒲郡市民会館窓口 0533-67-5151 (火曜日定休 9:00～17:00)

主催 蒲郡市文化協会 共催 蒲郡市教育委員会

第10回 文化事業

午後のコンサート

2月20日(日)

市民会館大ホール

開場13:30 開演14:00

《チケット発売中》

前売券 1,000円 (18歳以下500円)

当日券 1,500円 (18歳以下700円)

文協事務局又は市民会館窓口にて

いろいろと心配されましたが、何とか市民文化祭は展示会、発表会、市民茶会と開催出来ました。

今回は、芸能発表会、洋楽発表会、箏曲発表会とビデオ撮りを行いました。ホームページでも観られるようになりますので、ぜひご覧ください。

追加 特別会員 フレンドギャラリーたか 1口

図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706)

切り絵展	1月29日(土)～2月13日(日)
春の特別展 昭和・大正ノスタルジック	3月15日(火)～4月10日(日)
博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)	
蒲郡っ子作品展	1月28日(金)～30日(日)
手織場展	3月11日(金)～13日(日)

初心者のための文協講座



実用書道 年賀状

11月22日と29日の2回に渡り年賀状を題材に書道講座を行いました。藤田芳子先生の指導のもと10人が参加しました。1回目は年賀状の表書きを硬筆で習い、2回目は来年の干支である虎の文字6パターンのお手本を元に練習しました。

講師の感想では、みなさんご自分の才能に気づいていない方が多く、大変よい出来だったそうです。今までの年賀状は写真で済ませていたが、今後は筆で書こうとか、これを機に書道教室へ通おうとかの話があり、大変好評でした。